

三重大史学バックナンバー(各 1000 円)

創刊号	比較都市考古学の旅—慶州と飛鳥—	山中 章
	江戸時代における大名居城の城門規定について	白峰 旬
	人物埴輪樹立の意義	神尾 和歌子
	賀茂別雷神社と盲人	山田 雄司
	鳴物停止令と地域社会—伊勢神宮周辺地域を中心に—	塚本 明
第2号	伊勢新聞に見る近代日本のアジア観	伊藤 真琴
	伊勢国飯野郡中村野大安寺領と東寺大国庄	山中 章
	伊勢・伊賀における埴輪製作集団の動向	中川 千恵美
	『北野社家日記』人名索引	三重大学人文学部日本中世史研究室
	山田奉行の裁許権	塚本 明
第3号	尾張国名古屋城修補許可の老中奉書について	白峰 旬
	尾鷲大庄屋文書の調査始まる—地域文化運動としての古文書調査の試み—	塚本 明
	中華人民共和国陝西省東龍山漢墓	
	—陝西省考古研究所・三重大学人文学部考古学研究室合同発掘調査記録—	
		三重大学人文学部考古学研究室
第4号	『北野社家日記』地名索引	三重大学人文学部日本中世史研究室
	南北朝期室町幕府の軍事制度について—建武五年の畿内「大将」統轄軍—	石川 匡伸
	鈴を付けた S 字文鏡	赤塚 次郎
	漢代における壁画墓の地域色に関する研究	鈴木 裕美子
	中世における武士の愛宕信仰	小林 美穂
第5号	速懸—近世宇治・山田における葬送儀礼—	塚本 明
	律令期における地方祭祀の諸形態—木製祭祀具を素材として—	竹内 絵里奈
	大学と地域連携—尾鷲組大庄屋文書調査のその後—	塚本 明
	『北野社家日記』事項索引	三重大学人文学部日本中世史研究室
第6号	古代伊賀・志摩における官営瓦工房	梶原 義実
	「宗国史訓注(一)」	谷井 俊仁・斎藤 正和
	近世村落における山林所有形態の展開—尾鷲九か村持合山を事例に—	井口 侑子
	中世遷宮にみる伊勢神宮の構造	山内 宏之
第7号	伊勢湾交通からみた北伊勢の地域的特徴	栄原 永遠男
	洛陽隋唐城における合璧宮遺跡への初歩的調査	陳 良偉
	平安時代伊勢国朝明郡大矢智周辺の状況—伊勢神宮との関係から—	山田 雄司
	文献史料に見る行幸史料集(抄)	天野 三恵子・山中 章
	紀州藩の医療政策と地域社会	上野 周子
第8号	『宗国史』の歴史叙述	谷井 俊仁(谷井 陽子)
	嗚呼、谷井俊仁さん	廣岡 義隆
	慰勞詔書書式の変遷に関する覚書	山中 章
	道中記研究の可能性	塚本 明
	鈴鹿峠と坂上田村麻呂	山田 雄司
第9号	人里昆虫が語る三重県・鬼が塩屋遺跡の古環境	奥野 絵美・森 勇一
	松井石根と興亜観音	山田 雄司
	伊勢国村落の年中行事と豪農の生活—伊勢国三重郡八王子村を事例に—	藤谷 彰
	平安時代の天下触穢について	青島 史敏
第10号	考古学からみた古代王権の伊勢神宮奉祭試論	山中 章
	居延県城と漢代河西社会	高村 武幸
	近代の志摩海女の出稼ぎについて	塚本 明
	直島における崇徳院伝承	山田 雄司